

平成21年度～23年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.5 男女共同参画センター運営事業			担当課	男女共同参画センター		予算費目名	款	項	目		
								2	1	8		
事業概要 及び目的	男女共同参画の推進拠点として、センターの4つの機能である学びあいの場、市民活動支援の場、情報収集提供の場、交流の場として運営する。			成果指標	男女共同参画センター利用人数		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
				計画値	18,000人		予算額(単位:円)	3,729,000	3,362,000	3,300,000	3,493,000	
							決算額(単位:円)	3,284,935	2,981,106	2,970,626		
事業の 位置づけ	章	1	豊かな人間性と暖かさを育むまち	★左記施策(号)との結び付き 男女共同参画の推進拠点である男女共同参画センターを市民により活発に利用、活用していただくことにより、男女共同参画社会の実現に近づくことができる。		従事職員数	5	5	5			
	節	3	市民と行政との「協働型」社会の実現			従事延べ日数	133	133	133			
	項	1	市民と行政との「協働型」社会の実現			民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input type="checkbox"/> 余地なし					
	号	2	男女共同参画社会の実現				相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等 形態は? : 指定管理者等					

2. 進捗状況

				平成21年7月22日記入					平成22年5月11日記入					平成23年4月22日記入
年度	21年度評価(20年度実施した事項についての評価)				22年度評価(21年度実施した事項についての評価)				23年度評価(22年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	運営	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	運営	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	運営	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・市民用パソコンの更新 ・施設の利用方法を掲示する等の周知			・男女共同参画推進の拠点施設として、常時行うべき業務であるため	・障害福祉課の依頼により、拡大読書器を設置 ・登録団体のためのメールボックスを設置(市民協働推進課による設置、市民活動団体と共用)			・男女共同参画推進の拠点施設として、常時行うべき業務であるため	・併設する市民協働推進課において、施設内にデジタルサイネージ(電子看板)を設置、男女共同参画センター登録団体を含む市民活動団体の活動情報や地域情報を提供できるようになった。 ・市民活動団体への活動場所の貸出、提供(研修室、交流コーナー)			・男女共同参画推進の拠点施設として、常時行うべき業務であるため		
継続している 事項	・市民活動団体への活動場所の貸出、提供(研修室、交流コーナー) ・男女共同参画に関する情報の提供(パンフレット、チラシの配布、パソコンの設置、図書の本整備、貸出等)				・市民活動団体への活動場所の貸出、提供(研修室、交流コーナー) ・男女共同参画に関する情報の提供(パンフレット、チラシの配布、パソコンの設置、図書の本整備、貸出等)				・男女共同参画に関する情報の提供(パンフレット、チラシの配布、パソコンの設置、図書の本整備、貸出等)					
未着手事項														
改善案	・より多くの市民に男女共同参画センターを利用いただくため、施設そのものの周知を行うとともに、施設利用者に対し、施設の設置目的の周知を行う。			成果指標 実績値 16,491人 達成率 90%	・施設そのものの周知については、講演会、講座での施設パンフレットの配布や「みんなでまちづくり」の開催、市内全小学校保護者への情報紙の配布等、今後もさらにあらゆる機会を捉え、周知を行う。			成果指標 実績値 16,201人 達成率 89.3%	・施設の周知については、講演会や講座、イベントの開催、市内全小学校保護者への情報紙の配布等、あらゆる機会を捉え、今後も周知を行っていく。			成果指標 実績値 17,428人 達成率 96.8%		

3. 今後の方向性

				※課内協議を経て管理職が記入してください。 平成21年7月24日協議実施					平成22年5月12日協議実施					平成23年4月22日協議実施
今後の方向性	成果の方向性	拡充												
		現状維持												
		縮小												
		休廃止												
			休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性							
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	★上記を選択した根拠 市民活動団体の活動拠点としての男女共同参画センターの利用者数は、年々増加傾向にある。今後も登録団体をはじめとする市民の意見・ニーズを把握し、より利用しやすい施設運営を行っていく必要がある。 施設の運営について、民間団体の活用や市民協働の視点を取り入れることについては、今後の市民ニーズの変化により、必要に応じ、見直す。				★上記を選択した根拠 男女共同参画センターは、H15年の開設より利用者数は年々増加し、21年度実績において初めて横ばいとなったが、情報収集としてのパソコンの利用者がこの3年ほどで著しく増えている。今後も登録団体をはじめとする市民のニーズを把握し、より利用しやすい施設運営を行っていく必要がある。 施設の運営を民間団体の活用や市民協働の視点を取り入れることについては、今後の市民ニーズの変化により、必要に応じて見直していく。				★上記を選択した根拠 男女共同参画社会の実現に向け、当センターの4つの機能である、学びあいの場、市民活動支援の場、情報収集の提供の場、交流の場として、より多くの市民に利用されよう施設案内のPRを見直すなど、今後とも有効活用を推進していく。					
	方向性を実現するため実施すること(改革案)	市民協働インフォメーションルームと共用であるため、市民協働推進課と協議し、市民がより利用しやすい施設整備に努める。				市民協働インフォメーションルームと共用であるため、市民協働推進課と協議し、市民がより利用しやすい施設整備に努める。				インフォメーションルームと共用であるため、市民協働推進課と協議し、市民がより利用しやすい施設整備に努める。				
前年度改革案の実施状況	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。					